

特集

ごみを減らして 未来を明るく

「ごみ」の問題は、確実に環境へ悪影響を及ぼしています。私たちが住みやすいまちをつくるために、身近にできることから一緒にやっていきましょう。

ここでは、ごみの捨て方、3Rといった面から「今できること」を紹介します。

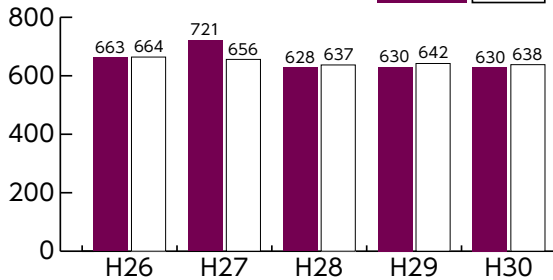
☎ 環境未来推進課環境未来推進係 ☎ 32-2901
環境管理課環境対策係 ☎ 33-5003



ごみを収集するため、町清掃センターからパッカー車が出発。
まちを美しくするため、日々業務に努めています。

家庭から出る

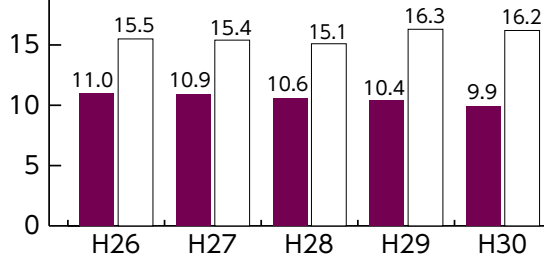
1日1人当たりのごみ量 (単位:g) 田原本町 奈良県



出典:「一般廃棄物処理実態調査結果」(環境省)

リサイクル率の推移 (単位:%)

田原本町 奈良県



出典:「一般廃棄物処理実態調査結果」(環境省)

QRコード
◀ 環境省・廃棄物処理技術情報
ホームページ
(一般廃棄物処理実態調査結果)

まちなごみ事情からわかる、これからの課題

日常の生活のなかで、必ず発生する「ごみ」。田原本町の状況はどうなっているのかというと…。

左のグラフを見てみると、1日1人当たりの家庭ごみの量は、平成27年を除けば県平均と同等で推移しています。しかし、リサイクル率については、県平均よりも4〜6割ほど下回っています。

田原本町では、リサイクルを促進し、ごみ量を減らしていくことが今後の課題となっています。

未来のために、ごみ対策を

「SDGs」という言葉(エスディージーズ)を聞いたことはありますか。今のままでは地球がもたず、皆が幸せに暮らせない…それを防ぐための国際目標です。

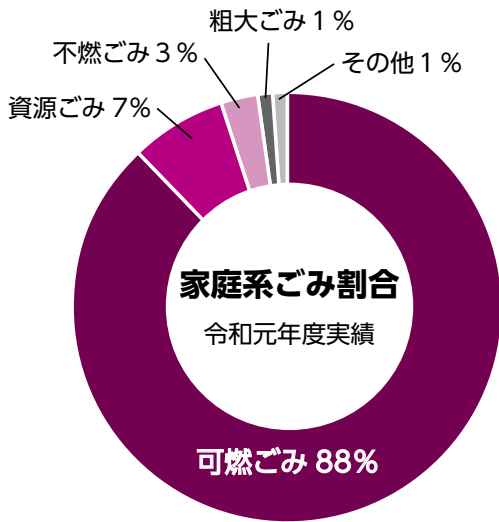
その達成のためには、ごみの課題は避けて通れません。埋め立て処分場、ごみ焼却量の増加は、自然破壊、地球温暖化に直結します。地球の資源は無尽ではなく、再利用が進まなければいつかは枯渇してしまいます。

未来を明るくするために、身近なところから一緒にやっていきましょう。次ページから「今できること」を紹介します。

QRコード
◀ 参考・SDGsについて



ゴミの出し方 見直してみませんか



左記のグラフは、田原本町の家庭系ごみ割合を示しており、その中で「可燃ごみ」の割合が88%と圧倒的です。可燃ごみの中には、正しい処理・分別によりリサイクルの促進、ごみの減量につながるものが含まれています。

地球に優しく。その方法の一つとして、ごみの出し方を見直してみませんか。

1. 水を切る

生ごみの水分は、ごみ量の増加、悪臭の大きな要因です。水を切ることでごみ減量やにおい防止につながります。

- 手で絞るほか、水切りグッズの活用も有効です。ここではペットボトルを使った手作りグッズを紹介します。



- ①ペットボトルの先端を切り取り、ビニールテープで補強します



- ②水切りネットなどを飲み口から出しギュッと絞ります

2. 食べ切る

料理を残すことは食品ロスにつながります。できる限り食べきることを心がけましょう。

- 料理は食べきれぬ適量を用意する。
- 残った分は適切に保存して食べる、別の料理に作りかえるなど、食べきれぬ工夫を。



3. 使い切る

食品や食材は、できる限り無駄なく使い切りましょう。食品や家計のロスを防ぐことにもつながります。

- 事前に冷蔵庫をチェックし、買い物メモを作ることで買いすぎを防ぐ。
- 野菜など、料理の際にはできる限り捨てる部分を少なくする。



生ごみは、3つの「切る」を心がけよう

可燃ごみの中にはリサイクルできる紙類が多く含まれています。新聞、雑誌、段ボール、紙パックはよく知られていますが、他にも…。

雑がみ（ミックスペーパー）も、リサイクルできる「資源ごみ」です

雑がみって？

新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれの区分でもない紙のことです。



例えば厚紙、画用紙、コピー用紙や便せん、チラシ、包装紙など…。

つい「もえるごみ」として捨ててしまいがちですが、実は大切な資源なのです。



◀排出方法など、詳しくは町ホームページをチェック

リサイクルされた紙資源はどうなるの？

「資源ごみ」として出された紙ごみは新たな製品に再利用されます。



- 段ボール…段ボール箱や紙筒など
- 雑誌・雑がみ…段ボール箱、絵本、週刊誌など
- 新聞…新聞、週刊誌、コピー用紙など
- 紙パック…トイレットペーパーなど

紙ごみには再利用できる「資源ごみ」が多くあります。ごみの出し方にはご注意ください！

ごみの分別収集にご協力を

貴重な資源を無駄にしない…。そのための最も身近な方法が「ごみの分別」です。

町では、もえるごみ・もえないごみだけでなく、さまざまな「資源ごみ」の分別を定めています。



ペットボトルは、キャップ・ラベルを外し、中をよく洗い、つぶして資源ごみへ

前ページで紹介した雑がみを例にあげると…。

「もえるごみ」として出すと、燃やされ埋め立てられます



古雑誌と一緒に「資源ごみ」として出すと

段ボールなどにリサイクルされ、新しいものに生まれ変わることができます！



つまり…正しい「ごみの分別」をすることで、知らないうちにリサイクルの促進、資源の有効活用に貢献していることになります！

ごみの分別にはさまざまな分類、条件があります。詳しくは、町ホームページや、ごみガイドブックをご覧ください。



▲町ホームページ ▲ごみガイドブック

ごみ分別アプリを 2月1日(月)から配信します

資源・ごみに関する疑問をサポートするスマートフォンアプリ



「ごみを出す日はいつだっけ?」「出し方が分からない」といった、ごみに関する情報や疑問をスマートフォンで確認できます。

アラート機能により収集日を事前にお知らせし、出し忘れ防止にも役立ちます。ぜひご利用ください。

ダウンロードについて

App Store (ios 端末)、または Google Play (Android 端末) からダウンロードできます。



ios 端末用



Android 端末用

アプリの主な機能

●ごみカレンダー



設定により、お住まいの地域に合わせた表示が可能です

●ごみ分別辞典



品目ごとに、出し方などが確認できます。キーワード検索も可能です



アラート機能により、出し忘れを防止します

●ごみの出し方



種別ごとに、主な品目と出し方が確認できます

他にもこんな機能が…

●よくある質問集

Q&A方式で掲載しています。

●MAP (地図)

使用済み小型家電収集ボックスの設置場所、指定ごみ袋販売店などが確認できます。

●お知らせ配信

特別収集日の持込ごみ混雑状況や、清掃センターからのお知らせを配信します。



3Rとは、ごみを減らすための3つのキーワードである、
リデュース リユース リサイクル
Reduce、Reuse、Recycleの頭文字をとったものです。



実践しよう、3R

エコに関するコーナー
(町役場 1階西玄関口)

ごみを減らす、少なくする

Reduce

(リデュース)



例えば

- 買い物ではマイバッグを持参し、レジ袋を減らす。
- 使い捨て商品の使用を減らす。
- 食品は必要な分だけを購入する。
- 食べ残しをしない。

繰り返し使う

Reuse

(リユース)



例えば

- 修理して、繰り返し使う。
- フリーマーケットやリユースショップを利用する。
- 必要としている人に譲る。

再び資源として利用する

Recycle

(リサイクル)



例えば

- 資源ごみを分別して出す。
- 資源ごみの分別収集を広める。
- リサイクル製品を積極的に利用する。

町では、3Rを推進するため、さまざまな取り組みを行っています。ここではその一部を紹介します。



◀町が行っている取り組みはまだあります！詳しくはホームページをご覧ください

不要なパソコン・小型家電を 宅配便で収集しています

町では、国の認定事業者リネットジャパンリサイクル(株)と協定を締結し、宅配便による使用済小型家電の自宅収集を行っています。

パソコンなどの小型家電には貴金属やレアメタルといった有用金属が多く含まれています。

不要なものがありましたら、ぜひご活用ください！



◀申し込み方法や収集できる品目、注意点など、詳しくはホームページをご確認ください

費用

●パソコン本体がある場合
1箱 **無料**

ない場合
1箱 1,500円(税抜)

※重量20kg以内、箱の3辺が合計140cm以内。
※ブラウン管(CRT)モニターを含めた場合は別料金が必要。
※代引きの場合は別途手数料が必要。

使用済小型家電収集ボックスへの持ち込みについて

町役場、関連施設8カ所に使用済小型家電収集ボックスを設置しています。こちらもご活用ください。



ご利用の流れ

※収集はご家庭からのみ。事業所からの収集は受け付けていません。

1. 申し込み



インターネット、またはFAXにて申し込みできます

2. 段ボール箱などに詰め込む



箱は各自で用意するか、専用段ボール(有料)をご利用ください

3. 宅配業者が収集



最短翌日収集。日時指定もできます



インクカートリッジ回収ボックス を設置しました

設置場所

- 町役場
- 青垣生涯学習センター
(公民館、図書館)
- 清掃センター

町は「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、プリンタの使用済みインクカートリッジ回収ボックスを町役場及び関連施設の計4ヵ所に設置しています。不要になったインクカートリッジの処理にご活用ください。

インクカートリッジ里帰りプロジェクトとは？

使用済みインクカートリッジのリサイクル推進を目的とした、プリンタメーカーによる共同運営プロジェクト。

仕分け拠点には障がいを持った人が多く働く企業を選定しており、障がい者雇用支援の一助となっています。



◀プロジェクト
ホームページ



注意！

ブラザー、キヤノン、エプソン、日本HP
の4社の純正品のみ回収しています。

他社製のリサイクルトナーなどは、回収ボックスに入れないでください。

不要となった家具や日用品を、必要とする人へ届けませんか ～「不要品情報交換サイト」をご活用ください～

①町が運営する不要品情報交換サイト



◀利用については、ホームページをご覧ください

町民の皆さんより受け付けた、

- 使用可能な不要品の情報
- 譲ってほしい品の情報

をサイト上に掲載しています。自分には不要なものでも、誰かにとっては必要なものかもしれません。ぜひご活用ください。

当サイトに掲載する情報の登録申請を随時受け付け中です。

不要になったけどまだ使える、といったものがあればぜひご登録を！

②地元の掲示板・ジモティー



◀利用については、ホームページをご覧ください

ジモティーとは、(株)ジモティーが運営する地域情報サイトです。「売ります・あげます情報」が地域ごとに掲載され、リユースを目的とした大型家具や電化製品の掲載、食品の譲渡や販売などが行われています。

町は(株)ジモティーと、リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結しました



これにより左記の「ゆずります、ゆずってください～Reuse in Tawaramoto～」と連携することにより、更なるリユースの促進を行います。

※取引により発生したトラブルにつきましては、町では一切責任を負いかねます。ご了承ください。

サイト比較

	①	②
掲載品	無料のもののみ	有料のものも可
掲載方法	自分で登録、または職員に依頼	自分で登録
受け渡し	町民に限定	町民以外も可
連絡先	環境未来推進課	ジモティーホームページ上
掲載品について	食品、金券などは不可	投稿・取引ガイドのとおり(ジモティーホームページ掲載)